

研究課題番号	4G-2301
研究課題名	ヒアリなどの侵略的外来生物の被害予測にもとづく効率的かつ確実な防除対策の研究開発
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	琉球大学
研究代表者名	辻 瑞樹

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

ヒアリの蔓延防止は、生物多様性、農業、人への健康被害防止の観点からも喫緊の課題であり、確実な成果があげられており、貢献度は高い。侵入リスク予測システムの有効性が確認され、九州地域にも潜在分布域が広がっている可能性を示した点は、成果として評価される。誘引剤トラップによるヒアリ監視調査にGC-MS検出技術が活用できることを実証したことは成果として評価される。環境毒性が懸念される現行防除剤のフィプロニルに代わる薬剤候補の検討など順調に研究が進捗している。ツマアカスズメバチの防除技術研究についても、さらなる成果をあげられることを期待したい。基礎研究とともに社会実装にも積極的に取り組むことを期待する。